**カリキュラムから知識体系（BOK）を構築するためのデータマインニング手法**

PMコース　矢吹研究室　11242032　小野寺航己

1. 研究の背景

大学では，大学教育の質保障の重要性が高まっている [2] ，少子化や大学の大衆化による学生の質の低下といった問題の影響を受けているためである．

大学教育の質保障活動の一つとして，カリキュラム（科目）の把握があげられる．学生がカリキュラムを把握できることにより，事前学習しやすくなる，学生がカリキュラムを履修するための参考にできるなどという利点から学生の質の向上が期待できる．学生がカリキュラムの講義内容を把握する主な手段として，詳細な講義内容が記されたシラバスが挙げられる．

　しかし，カリキュラムの内容と講義内容との関係が不明確である，例えば一つのカリキュラムの中に，異なる3つの分野の 講義内容が混在していた場合，そのカリキュラムがどう関係しているのか，

異なる3つの分野の講義内容がそれぞれ関係しているのかなどはシラバスには明記されていない．そのため，大学のカリキュラム内容が把握しづらくなっている．

　そこで，講義内容を材料に知識体系化（知識を整理して，どのような関係性があるかを分析し，論理によって結びつけたものをまとめること）することで講義内容に関係を持たせることができる．

　その結果，カリキュラムや講義内容同士の関係が明確になり，カリキュラムの内容が把握しやすくなる．

　本研究は，このカリキュラムの内容（講義内容）から知識体系を構築するデータマイニング手法を使って，プロジェクトマネジメント学科のカリキュラムを体系化するものである．

1. 研究の目的

プロジェクトマネジメント学科のカリキュラムと，データマイニング手法を使って，プロジェクトマネジメントカリキュラムの知識体系を構築する．

1. プロジェクトマネジメントとの関連

本研究はプロジェクトマネジメント学科のカリキュラムを体系化することにより，学科のカリキュラム内容を把握しやすることで，千葉工業大学の大学教育の質保障につながる．

1. 研究の方法

本研究で使用するデータマイニング手法はクラスタ分析であり，観測対象を互いに類似したもの同士でグループ分けする分析方法である．

* 1. カリキュラムからユニット候補を取り出す

プロジェクトマネジメント学科のシラバスから，BOKのユニット候補となる授業1回分の内容を取り出していく，取り出したユニット候補の整理する

・名前が異なるだけで講義内容は同じ概念の用語の統一

　例:「セキュリティ管理」，「セキュリティマネジメント」をセキュリティマネジメントに統一

・BOKのユニットとして細かすぎると思われる用語を，抽象度の高い用語に変換

例.:「学内ネットの使い方」，「パソコン基本操作とファイル操作」をパソコン入門に変換．

* 1. ユニット候補を，データマイニング手法を用いて分類する
  2. 分析してできたクラスタをBOKのエリアとする．

　そして6通りの分析結果の中から．一番ユニット候補の分類に違和感が少ないものを，本研究で作成したプロジェクトマネジメント学科カリキュラムの知識体系として決定する．

1. 進捗状況

・対象とする千葉工業大学のカリキュラムは，現時点で一番調査しやすいと思われる1年次で受講できる専門科目とした．科目数は18科目である．

・取り出したユニット候補は154項目であり，ユニット候補になりえない候補は，この時点で除外した．除外したユニット候補はガイダンス，中間試験，期末試験である．

・ユニット候補を整理して，最終的にユニット候補が81項目になった．

・現時点で研究の方法①までが，完了している

1. 今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 日程 | 内容 |
| 12/16~12/20 | ユニット候補を分析する |

参考文献

[1] 矢吹太朗, 森田武史, 増永義文. 集合知による知識体系構築のための意見集約方法. 信学技報, vol. 113, no. 105, DE2013-18, pp. 71-76, 2013年6月.

[2] 増永良文, ソーシャルコンピューティング入門　―新しいコンピューティングパラダイムへの道しるべ―, サイエンス社, 2013-3.

[3] 豊田秀樹. データマイニング入門 Rで学ぶ最新データ解析. 東京図書株式会社. 2008. 308p.